



## 京都大学同窓会紫緑会への

## ご寄付のお願い

京都大学は1897（明治30）年、2番目の帝国大学として、また、わが国最初の研究型大学として創立され、2022（令和4）年に創立125周年を迎えました。

京都大学医療技術短期大学部は1975年（昭和50年）に設立され、専攻科、看護学科、衛生技術学科卒業生、教官、有志により、京都大学医療技術短期大学部同窓会が発足しました。第三代主事（学部長）であった富田仁先生からご提案があり、1975年の「7・5」が国際カラー色において「紫・緑」であるところから「紫緑会」と命名されました。紫は古き都を表し、緑は若きエネルギーを表現するとの深いお考えも含まれています。

1979年（昭和54年）第1号より毎年1冊同窓会誌「紫緑会」を発刊しました。第1号から3号までは数ページのものでしたが、理学療法学科、作業療法学科の新設が認められた1982年（昭和57年）度第4号より内容を充実させ、同窓会名簿を併せて掲載するようになりました。卒業生が2000名前後になると、住所変更者の増加、連絡のない住所不明者の増加、会費納入率の低下、携わる同窓会役員の減少など種々の問題が発生してゆき、1984年（昭和63年）第9号の発刊をもって同窓会活動は数年間休止しました。同窓会発足当初から同窓会会長は医療技術短期大学部主事（学部長）にお願いしていましたが、1995年（平成7年）3月に当時の学部長であられた高橋部長より、現状を踏まえて新たに規約改正などを行い、再出発しようとして提案され、1996年（平成8年）4月より会長は卒業生が担い現体制へ再編し、看護・衛生・理学・作業各支部の活動を継続して参りました。しかしながら、ここ数年は学部・大学院の再編などもあり、会員数が激減しております。今後10年程度で財源が枯渇するとの試算もあり、本同窓会の存続が危ぶまれる重要な時期を迎えております。

ここ数年にわたるコロナ禍で、私たち医療者は改めて人と人とのつながりの重要さを感じました。困難な状況においても様々な形での医療連携を紡ぐ中で、同窓会は、医療人としての志の第一歩を同じ学び舎で踏み出した同窓生たちの心の寄りどころとして、いつでも安心して帰ることができるアジールとして、紫緑会は卒業生たちを支え続けます。教官の先生方および卒業生の皆様には、紫緑会の趣旨にご理解いただき、今後一層のご支援をお願い申し上げます。

紫緑会会長 幸野 里寿（京都大学医学部附属病院）

ご寄付にご協力いただける方は、下記の口座までご送金ください。

1口2,000円で、口数は任意です。よろしくお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行

記号：14460-2 番号：5172521 名義：紫緑会

\*全銀システムによる他金融機関からの振込サービスをご利用の場合は、  
店名：四四八（読み：ヨンヨンハチ）店番：448

預金種目：普通預金 口座番号：0517252 名義：紫緑会